

2022年6月1日
日本生命保険相互会社

東京大学とのメンタルヘルスに関する共同研究の開始
～デジタルを活用したセルフモニタリングとメンタルケアの開発～

日本生命保険相互会社（社長：清水博、以下「当社」）は、東京大学と共同で社会連携講座「デジタルメンタルヘルス講座」を新設し、デジタルを活用したセルフモニタリングや将来予測、AIによる個人の属性に合わせたメンタルケアの開発に向けた共同研究（以下、「当研究」）を実施します。

心の健康は、個人だけでなく企業や組織などにとっても重要な課題であり、特にコロナ禍では、心の健康問題が大きな社会課題となりました。これからの社会においては、労働者や地域住民の心の健康をデジタルツールで支える「デジタルメンタルヘルス」が重要と考え、当研究の実施に至りました。

当研究では、東京大学大学院医学系研究科に研究室（川上憲人特任教授）を設置し、AIなどのデジタル技術を応用したメンタルヘルスの手法開発ならびに、世界標準に基づく測定の精度およびメンタルケアによる効果の検証を行います。大学内に、デジタルメンタルヘルスを専門として「労働者の心の健康」を研究する研究室の設置は世界初となります。

今後の展開として、効果検証を重ねた質の高いサービスを個人や企業・組織で広く利用いただくことで、人々の心の健康の増進につなげることを目指します。

当社は、中期経営計画「Going Beyond—超えて、その先へ—」（2021-2023）において、健康長寿社会づくりの牽引を柱の一つに掲げています。今後も、既存のヘルスケアサービスを強化するとともに、メンタルヘルスといった新たな領域のサービス展開を通じ、お客様の健康寿命の延伸に貢献してまいります。

<東京大学大学院医学系研究科 川上憲人特任教授>
精神保健の疫学研究を専門とし、これまでに心の健康の測定およびその関連要因の分析、心の健康問題の予防・治療のための介入手法の開発と効果評価に関する研究を行い、一流誌に450編以上の論文を公表。日本産業衛生学会・日本産業ストレス学会前理事長。2019年厚生労働大臣表彰、2020年紫綬褒章、2021年中央労働災害防止協会顕功賞を受賞。

以上